

平成27年度 事務事業マネジメントシート

事業名	不法投棄対策事業				会計	款	項目	大事	小事	
					01	04	01	04	06	03
政策	02	2節 生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）			主管課	環境政策・放射能対策課				
施策	2-1	豊かで美しい生活環境の創造			主管課長	染谷 忠美				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	不法投棄物	意図	ごみのない街にする。
事業内容	不法投棄物の早期回収並びに未然防止パトロールを実施することやクリーンセンターにおける不適物の処分を行い、快適な生活環境を維持する。			
事業開始から現在までの状況変化	クリーンな生活環境整備の一環として、従来は市民生活機動班により市内の清掃活動を行ってきたが、現在は業務委託により年間を通じた不法投棄パトロール及び徹底回収を実施している。件数や回収量は、その時の社会情勢や経済情勢の影響を受け、現在は投棄件数は増えているが回収量は減っている。また、不法に集積所へ排出された不適物は、クリーンセンターで回収、処分が出来ないため合わせて処分を行うことにより経費の削減を図っている。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成25年度	平成26年度	平成27年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
		①	不法投棄回収件数	775	668	491		件
②	不法投棄回収量	57	61	52.14	トン	→→		
③								
④								
指標で表すことができない定性的な成果					目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） ・法の改正等で罰則が科せられることによる市民相互の監視の高まりがあることから、より一層の不法投棄の早期回収と未然防止のパトロール強化が求められている。 ・引越しごみ等、大量の不法投棄は減っているものの、道路脇等へのポイ捨てが増加している。 ・クリーンセンターへの一般収集物に混在して不適物が最近増えつつあり、ゴミの出し方へのモラルの低下がみられる。			
事務事業のコスト		平成25年度	平成26年度	平成27年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)		8,294,582	8,814,844	10,440,673				
事業費(b)(円)		7,036,922	7,571,044	9,085,273				
うち一般財源		7,036,922	7,571,044	9,085,273				
職員給与費(c)(円)		1,257,660	1,243,800	1,355,400				
人役・職員(人)		0.18	0.18	0.18				
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)								
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	B 市が担うとともに、市民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H27)の改善計画	市民ボランティアとの協働。	③取組の課題	未然防止パトロールによる不法投棄防止。
②今年度(H27)に実施した取組	市民ボランティアによるまちをきれいに志隊と連携を図り、不法投棄の状況や場所など情報の共有化に努めた。	④今後の改善計画	市民ボランティアとの協働をより増加させる。